

第2回 原子燃料検討会 議事録

1. 日 時 平成17年1月12日(水) 14時00分～17時00分

2. 場 所 日本電気協会 4階 B会議室

3. 出席者(順不同,敬称略)

古田主査(原子力安全基盤機構),新井副主査(東京電力),池田副主査(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン),高橋(関西電力),伊東(三菱原子燃料),小野(三菱重工),常松(原子燃料工業),山倉(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)

(計8名)

欠席者 川崎(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン),中島(日本原電),渡邊(東京電力)
松本(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)

(計4名)

事務局 国則・上山

(計2名)

4. 配付資料

資料 No.2-1 前回議事録案(第1回/H16.10.7)

資料 No.2-2 原子燃料検討会 委員名簿

資料 No.2-3 JEAG4204-2003「発電用原子燃料品質管理指針」の英語版案(A3比較表)

資料 No.2-3-1 JEAG4204-2003「発電用原子燃料品質管理指針」の英語版案へのコメント

資料 No.2-3-2 JEAG4204-2003「発電用原子燃料品質管理指針」の英語版案へのコメント

資料 No.2-4 原子燃料分科会 規格改廃要否結果及び平成16年度活動実績・平成17年度活動計画案

参考資料-1 第16回原子力規格委員会 議事録

参考資料-2 第17回原子力規格委員会 議事録案

参考資料-3 「規格案審議プロセスに対する意見」の検討結果

参考資料-4 原子力規格委員会 功労賞 表彰規約

5. 議事

(1) 委員定足数の確認

事務局より委員総数12名に対して本日の出席委員数は,8名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。

(2) 検討会委員変更について

資料 No.2-2 に基づき、事務局より検討会委員名簿(案)の紹介と次回の原子燃料分科会(平成 17 年 2 月 4 日開催)において、以下の委員承認手続きを行う説明があった。

- ・ 退任委員 : 常松 睦生 (原子燃料工業株)
- ・ 新任候補 : 吉国 正明 (原子燃料工業株)

(3) 前回(第 1 回)原子燃料検討会 議事録(案)の確認

資料 No.2-1 に基づき、事務局より前回議事録(案)の紹介があり、コメントなく了承された。

(4) 原子力規格委員会の活動状況について

参考資料-1~参考資料-4 基づき、題記に関する主な事項として、事務局より以下の項目が紹介された。

- ・ 「規格案審議プロセスに対する意見」の検討結果
- ・ 原子力規格委員会 功労賞 表彰規約

(5) JEAG4204-2003 発電用原子燃料品質管理指針 英語版案の検討

第 1 回検討会後の修正案に対するコメント(資料 No.2-3-1 及び資料 No.2-3-2)に基づき、常松委員及び小野委員より以下の内容が紹介された。

基本的に 90 年版を尊重する。

次の場合は 90 年版を修正する。修正する場合においても 90 年版の用語・語法を可能な限り使う。

- a . 現在の英語では、文法上、不自然な場合(主に the と a, 単数と複数)
- b . 異なる意味で受け取られるおそれがある場合
- c . 極めて読みにくい語法・構文等が使われている場合(少々、読みにくいのは許容)
- d . 和文との差が大きい場合(少々の差は許容)

「品質」と「品質水準」を使い分ける。

和文版では参考事項において、これらの用語は、慎重に使い分けられている。

「計数值」と「計量値」の英訳について、「計量」は「attribute」、「計数」は「variable」と JIS 用語に統一する。

参考規格(JIS, ASTM 等)の名称については、JIS の英語名称や ASTM の原題(英語)を正確に使う。

以上、 ~ コメントに対する修正案は了承された。

ただし、一部の語句表現については議論の結果、次のように統一することになった。

- ・ 資料 No.2-3-1 (ページ 25)

Supplement2-3: ... check inspection check ~~inspection~~ ...

と、 inspection を削除し、check のみの表現とする。

・資料 No.2-3-1 (ページ 26)

(2) Location of Inspection: ... for carrying for the purpose of ...
と, the purpose of を挿入する。

・資料 No.2-3-1 (ページ 33) 他ページも含む

タイトル Reference Information: Reference Information Reference ~~Information~~
と, Information を削除し, Reference のみの表現とする。

・資料 No.2-3-1 (ページ 34)

(i)(j): ... limits rules and criteria limits ~~rules and criteria~~ ...
と, rules and criteria を削除し, limits のみの表現とする。

(6) 原子燃料分科会「規格改廃要否結果及び平成 16 年度活動実績・平成 17 年度活動計画案の検討」

資料 No.2-4 に基づき, 古田主査より今年度の実績紹介があり, 原子燃料検討会としての今後の活動(規格改廃要否, 17 年度計画案, 新規格案等)が議論された。題記に関する統括は原子燃料分科会となるため, 以下の意見については, 次回開催の原子燃料分科会に具申することになった。

JEAG4204-2003 年は制定後, 間もないこと及び JEAC4111-2003「原子力発電所における安全のための品質保証規程」にて規定化されたことから, 本指針のニーズ性が薄らいできている。よって早急な改定の必要性はないが, 最新知見の反映等の調査は, 今後も検討会課題として継続する。

新規格の必要性調査についても, 規格体系化の計画(民間規格の整備)を睨みつつ, 同様に今後の調査課題(継続)とする。

6. その他

(1) 今後の策定スケジュール予定

作成担当者(執筆者)の英語版修正及び改定概要の作成。

(期限: 1 月 25 日までに事務局へ送付。)

事務局にて取り纏め, 分科会委員へ送付。

分科会への審議上程(平成 17 年 2 月 4 日開催)

(2) 次回検討会の開催予定

第 5 回原子燃料分科会(平成 17 年 2 月 4 日開催)の審議状況を踏まえて別途開催予定。

以上